

パブリックコメントに関する説明会（箕面小校区）の実施状況

1. 実施日時 令和2年4月4日(土)14時

2. 参加者からの主な意見

(1) 検討プロセスについて

- 第9回ワークショップ(2/22)から審議会(3/2)までの短期間で、箕面小校区の変更案が「中央線より北側(西小路の一部)を西小校区に変更する案」から「牧落・百楽荘の一部を南小に変更する案」になったが、地域住民の意見をもっと聞くべき。
- 箕面小校区を狭めるためには、必ずどこかが校区変更せざるを得なくなる。地域の対立を生むのではないか。

(2) 箕面小校区変更案の課題

- 牧落・百楽荘よりも桜の方が南小に近い。南小への校区変更をするなら、桜の方が合理性があるのではないか。
- 牧落・百楽荘から南小へは踏み切りを渡らなければならない。また、細い里道を通ることになり、通学の安全性が考慮されていない。
- 牧落・百楽荘でこども会がある。そこが分断されてしまい、子ども同士や地域のつながりがなくなってしまう。
- 自治会の中で校区が分かれてしまい、防災面でも課題がある。
- 牧落八幡宮の祭りがあるが、校区変更されたらその祭りに参加できなくなる子どもがいるのではないか。

(3) 指標に対する意見

- 「学校敷地面積/校区面積」の指標によると箕面小は手狭であるが、現在の状況でも不便はないのではないか。
- 児童数の多い学校、少ない学校、広々とした学校、手狭な学校、色々な学校があってもいいのではないか。平準化する必要性がわからない。
- どうしても箕面小の学校敷地が手狭だというなら、学校敷地を拡張する努力をしてほしい。

以上